

## 閉上地区まちづくり協議会 世話役会(8) 議事録

日 時	平成 26 年 6 月 18 日 (水) 18:30~21:00
場 所	名取市復興区画整理課会議室 (仙台法務局名取出張所 2 階)
出席者	世話役: (代表) 針生勉, (副代表) 阿部ひで, (副代表) 今野義正, 宇佐美久夫, 今野慎介, 鈴木政義, 沼田智幸, 木皿裕司, (事務局長) 南部比呂志 (事務局) コンサルタント 4 名
傍 聴	(監査) 阿部隆、荒川洋平議員
オブザーバー	仙台高専 坂口先生・祝先生・学生 1 名、名取市職員 4 名
議 題	0. 事前確認 1. 情報発信について 2. 検討テーマについて 3. その他
資 料	資料-0 議事次第、第 7 回世話役会議事録(案) 資料-1 閉上復興実現の会 提供資料 (宮城県災害公営住宅整備指針、ワークショップ提案・市の返答、視察写真) 資料-2 ビジョン検討スケジュール 資料-3 検討テーマの整理 資料-4 ビジョンの柱 資料-5 仙台高専制作の模型及び検討資料

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

- ・一部修正して議事録を確定した。

#### 1. 情報発信について

<名簿登録の情報共有について>

- ・次回、事務局で申込者の傾向を分析する。

#### 2. 検討テーマについて

<部会の進め方について>

- ・現行案に対して、世話役会で対案をつくり、部会で検討するという進め方とする。
- ・部会は 2 回とし、道路・公園を 1 回目 (7/12)、災害公営住宅を 2 回目 (7/19) に開催する。
- ・部会の会場は、イオンモールの会議室とするが、予約が取れない場合は市役所とする。
- ・部会の世話役の出席者は次回調整する。ニュースレターに掲載するため、紙面案も用意する。

<模型について>

- ・災害公営の模型については、災害公営住宅希望者の戸数や年齢層を坂口先生に情報提供する。

<ビジョンについて>

- ・文言を修正し、引き続き議論を行う。

次回予定: 世話役会(9) 6/24(火)18:30~ 名取市復興区画整理課会議室

## 以下、世話役会の主な意見について記載する。

### 0. 事前確認

#### ● 議事録の確認

・第7回世話役会議事録について確認。

- P4(下から5段目):「早期実現の会で行った災害公営住宅のワークショップ及び見学会について」と修正
- P1(2.意見とりまとめ):「ネーミングとして「ウォーターフロントタウン閑上」等が提案され、今後も引き続き検討する」と修正
- P4(上から13段目):「道路沿道の方が商業施設を誘致しやすいのでは?」と修正
- P4(下から13段目):「低山運河」⇒「貞山運河」に修正
- P4(下から8段目):「井戸端会議で使われているいど」⇒「井戸端会議で使われている程度」に修正

#### ● 名取市からの情報提供

- 土地区画整理事業について、設計施工一体型業務を発注し、8月頃に業者を決定する予定である。
- 防集移転元の買取を6/23から開始するという案内を出している。土地区画整理事業区域の買取は5月中に開始としていたが、遅延のお詫び文書を発送している。5月下旬まで入居希望調査を行っていたことから、必要面積の精査に時間が掛かった。また県協議、税務署協議が約2ヶ月かかることから、8月中旬頃から契約会を開始するという文書を発送予定である。
- 市議会では、愛島東部団地の請願は不採択となったが、付帯意見がついている。

#### <意見交換>

- 採決の方法は多数決か? ⇒7対13だった。
- これから閑上を進めていくのに下増田の補正予算がどうなったのか。⇒可決された。
- 今後、閑上でもありうるのか。⇒ありうる。
- 林野庁の話題が新聞に載っていた。林野庁でなく業者が悪いのか。⇒本件では業者が悪い。
- 復興の速度を遅くする動きにはつながらないのか。⇒直接は関係ない。

#### ● 災害公営住宅に関する情報提供（南部事務局長より）

・宮城県ガイドライン、ワークショップの結果及び市から返答文書について説明

- 床下収納など山下で整備できて、名取市でできないのはなぜか。  
⇒やり方の工夫だと思う。  
⇒市住宅班に話をするが、設計はこれからである。グレードの問題だろう。  
⇒資材調達などの関連でスピード感も絡んでくる。難しい問題だ。

### 1. 情報発信について

#### ● 名簿登録の情報共有

・現在、150件380名から申し込みがあった。今日、3件あったので153件となる。次回までに申込者の傾向を分析する。

- 閑上でない住所の方はどういった方か。⇒地区外居住で地権者だろう。

- 住所は空白なのはなぜか。⇒紙面に書かれていない。フォローできるところに行える。
- 今回送付したのは 670 件である。

### ● 提案箱の設置、回収状況

- ・パワーポイントにて設置状況を紹介。まだ箱の中に提案は入っていない。
  - 回収は毎週月曜日回収することとしている。

### ● 市ホームページのガラケー対応

- ・今の HP ではパソコン用でありデータ量が大きいいため、リンクができない。ガラケー用の HP をつくれば可能とのことだ。
  - 仮にガラケー用 HP をつくるとしたらどうか。
  - まち協用フェイスブックをつくってはどうか。ガラケーでも見られる。
  - 技術的には可能だが、どうやって周知するかが課題だ。
  - まち協の存在と、設立総会前の状態の違いが分かっていないようだ。声が上がる以前の問題。そういった方に、情報をどのようにシェアするかは難しい。
  - パソコンと同じ内容のものをつくることは難しい。容量の重いものはパソコンで、まち協の予定等、軽い情報だけ載せるという方法もある。
  - フェイスブックでリンクできるのであれば大丈夫だが。
  - 市では 1 ページあたり 50 キロバイトということだ。
  - やるのであれば、現実的に継続できるかを踏まえた検討が必要だ。手間をかけるよりも他の方法も検討が必要ではないか。
  - どうすれば情報を見てもらえるのか、リサーチもしてほしい。

## 2. 検討テーマについて

### 資料-2 ビジョン検討スケジュール

### 資料-3 検討テーマの整理

- ・スケジュール案及び現行計画の基本的な考え方(道路・公園・災害公営住宅)を説明。

#### <検討テーマについて意見交換を行った>

- 宅盤と道路の高さはどうなるか。⇒基本的にフラットだ。
- 緑道の一部を橋にして道路を超えさせるのはどうか。
- シンボルロードを横断することが可能ということではないのか。緊急時には横断することを可能にする必要がある。
- 塩釜亘理線の交通量を考えると、緊急時には平面交差 1 箇所では少ない。閑上港北線に集中する。
- 緊急時の道路のあり方を検討する必要がある。
- 南側道路からの流入は一箇所だ。住民は大丈夫だが、訪問者は迷路に感じるのでは。
- 商店街について、2500 人の街にわざわざ人が来るかということを考えると、どれくらい戻るか調査をしているのか。⇒商工会で希望を聞いているそうだ。商工会で検討もしている。(市)
- 土地区画整理区域外の方も視野に入れ、塩釜亘理線沿いに道の駅やスーパーのようなものをつくと良いと思う。
- 図面には、いままでの議論が反映されていない。
- 閑上地区の公園だとそれなりの大きさだが、学区としての公園だとどうなるのか。

⇒緑道は広すぎる。何m必要なのかを検討しても良い。舗装を曲げていくこともある。(市)

➤ これから協議会の提案としてまとめるものである。

・現行案に対して、世話役会で対案をつくり、部会で検討するというスケジュールだが、このような進め方で良いか。

- そのような進め方で良いと思う。
- 世話役会でたたき台となるネタをあげていくことが必要だ。
- 朝市のメイプル館に 11 時集合というのはいかがか。
- メイプル館は、集まって議論するスペースが狭い。
- 上町集会所では土曜の午前は、だいたい空いていない。
- 土曜日にメイプル館を活用してはどうか。
- 市役所もこの会議室しか使用できない。
- 150 人中、1 割来る程度ではないか。そうなるともここでも良いのでは。
- さいかい市場の 2 階はどうか。
- イオンモールはどうか。被災者であると無料という話もあるようだ。
- 土曜日の午前中でイオンモールをあたり、代替案として市役所とする。

#### 資料-4 模型について

- 小さな広場を住宅が囲むようにする場合もある。リビングアクセスといって、居間側に玄関を配置することもある。⇒ 民地の換地とし、地区計画を整理する必要がある。(市)
- 中庭があると、コミュニケーションが取りやすい。
- 神戸市では 100 m<sup>2</sup>のポケットパークを交差点の角に整備することはある。
- 公園を細かく分割し、ポケットパークを配置してはどうか。
- 模型と平面図の関係が分かると良いが、今回はモデル模型だ。
- ポケットパークは街区に 1 箇所あれば良いのではないか。  
⇒街区で一箇所となると減歩が大きくなるなどもある。(市)  
⇒公園規模としては、一人あたり 4 m<sup>2</sup>までは大丈夫だろう。(コンサル)
- 班は 20~30 世帯の規模だから、班毎にあってもよいのでは。班で広場を管理することも考えられる。
- ポケットパークとは別に、また集会所に隣接した公園も必要だろう。
- イメージ写真などがあれば分かりやすい。
- 住宅裏の緑道は民地を抛出して整備することになり、整備費も住民の負担となる。また管理も皆さんで行うことになるがそのようなことも考慮する必要がある。(市)
- 家が窮屈に並んでいるよりは、余裕のある方が良い。
- 家のフェンスを設けないとすると、地区計画を設ける必要がある。(市)
- 平常時、救急車は道路を通ることになるので、緑道については、歩行者専用となる。
- 7/26 は坂口先生の予定が入っている。道路・公園を一緒に 1 回(7/12)、災害公営住宅を 1 回(7/19)とする。
- 部会には神戸の野崎氏にコーディネータとしてお願いしようと考えている。
- 今日の意見は、代替案としてとりまとめる。
- 災害公営の模型はどうするか。
- 災害公営住宅に入る方の戸数や年齢層が分かれば良い。(坂口先生)

- 前提条件として戸数は設定している。
- 屋根を空けると間取りが見えることはできるのか。⇒可能である。(坂口先生)
- 部会の世話役の出席者は次回調整する。ニュースレターに掲載するには来週決定する必要があるので、ニュースレターの案も用意する。

#### 資料-5 ビジョンの柱について

- ・これまでの議論を踏まえ、ビジョンの柱を整理した。
  - こういう町はあるようでない。
  - 閑上の家とは何か。
  - 稼ぐまち、儲けられるまちは、誰が稼ぐということか。ギャンブルのようだ。表現が露骨だ。
  - 閑上にお客さんを呼び、お金を落としてもらい、市に納税するという意味だ。
  - 「稼ぐ、儲ける」は、入れなくてもよい。別の言葉が思いつけば再度入れる。
  - 病院という言葉でなく、医療機関の方が良いのではないか。介護施設も必要だ。
  - 検討中のビジョンであることを明記する。
  - ポケットパークは「集まる」に記載すべき。

### 3. その他

【傍聴1】月に一回でもよいので、みんなで困り毎を話し合える場がほしいという話題があった。道路の舗装で目地の草刈りをするのは年寄りの役割という話があって、かなり負担になるという話があった。

【傍聴2】昨日、議会が終わった。下増田の移転先団地の工事請負契約が増額になるということが議会で話し合われた。半分は土の問題、もう半分はグレードアップに伴うものだった。すごい町ができると思った。本来のまちづくりの具体のところは住民主導でできると思うので、まちづくり協議会が鍵を握っている。いい町のために、協議を重ねて頂きたい。維持管理も住民で考えていくべきだろう。

以上